

(様式第1号)(第2条16号関係)
別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称：しなの福祉教育総研	所在地：長野県上田市上田180-6
評価実施期間：令和5年8月4日から令和5年12月12日まで *契約日から評価結果の確定日(通常、評価結果報告会日)まで	
評価調査者(評価調査者養成研修修了者番号を記載) 050431 B18052 B2020073	

2 福祉サービス事業者情報(R5年10月現在)

事業所名： (施設名)安曇野市立有明あおぞら認定こども園	種別： 保育所型認定こども園	
代表者氏名：安曇野市長 太田 寛 (管理者氏名)園長 小林 幹子	定員(利用人数)：160(119)名	
設置主体：安曇野市 経営主体：安曇野市	開設(指定)年月日： 平成21年 4月 1日	
所在地：〒399-8301 長野県安曇野市穂高有明9511		
電話番号： 0263-84-5020	FAX番号： 0263-83-8767	
電子メールアドレス：ariakeaozorahoikuen@city.azumino.nagano.jp		
ホームページアドレス：		
職員数	常勤職員：17名 非常勤職員 3名	
専門職員	事務員 1名	
	保育士 19名	
	幼稚園教諭	
施設・設備 の概要	(居室数) 10 (設備等)	
	乳児ほふく室 1室	ホール(リズム室)・絵本コーナー
	保育室 7室	トイレ
	延長保育室 1室	砂場・滑り台・ブランコ・雲梯・鉄棒・
	調理室 1室	ジャングルジム・畑・田んぼ・築山・土手
	事務室 1室	プール

3 理念・基本方針

【理念】 <ul style="list-style-type: none">生涯にわたる人間形成の基礎を培うために、就学前における全ての子どもの成長、発達について連続性をもった教育・保育を行います。専門性を生かしながら全ての子育て家庭への支援を行います。子どもにとって最もふさわしい生活の場を保障し、家庭や地域から信頼されるこども園を目指します。 【方針】 <ul style="list-style-type: none">人や自然とのかかわりの中で、豊かな人間性や生きる力を身につけた子どもを育てていきます。安全で安心できる保育を保障します。

【目標】

- ・いのち（自分・人・生物）や物を大切にする子ども
- ・挨拶ができる子ども
- ・様々な人との関わりを通して、お互いを認め合える子ども
- ・好奇心を持ち、意欲的に取り組み、やり抜こうとする子ども
- ・自分で考え、主体的に行動できる子ども
- ・人の話を聞き、自分の気持ちを伝え表現できる子ども

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み**【安曇野市の特徴】**

安曇野市は、平成17年（2005年）10月1日に、豊科町・穂高町・三郷村・堀金村・明科町の5町村が合併して誕生しました。長野県のほぼ中央部に位置し、北アルプスの麓に広がる緑豊かな自然や清冽な湧水に恵まれた美しい景観が広がっています。また、魅力的な地域文化や、数多くの美術館や博物館があり、文化や芸術の薫り高い市です。雄大な景色と雪の少ない気候、生活の利便さから近年は移住者も増えています。

自然に囲まれた豊かな保育環境を活かした安曇野市ならではの子ども・子育て支援計画が策定されており、地域みんなでサポートする子育て環境を整えているとともに、子どもたちがのびのび成長できるように様々な取り組みが安曇野市全体で行われています。

市のホームページではこれら子育て支援のための情報が丁寧に発信され、安曇野市が育てたいと願う子どもの力が明確に示されています。

【保育・子育て支援の特徴】**○あづみの自然保育**

- ・安曇野の豊かな自然環境を活かし、四季を通じて「その時だからこそできること」を大切に、子どもが自ら自分らしく伸びていく力を信じ、見守り、支える保育を実践しています
- ・安曇野事前保育ブランディング保育士を採用し、あづみの自然保育の推進・情報発信を行っています。

○信州やまほいく

- ・H27.10月より継続して県の「信州やまほいく」信州型自然保育の認定を受け、自然を通して体全体と五感を使い、たくさんの刺激の中で、子どもたちは自分が楽しむ方法を主体的に見つけています。

○病児・病後児保育

- ・安曇野赤十字病院内に安曇野市病児・病後児保育室を開設しています。

【有明あおぞら認定こども園の特徴】

間近に北アルプスが見え、田畑に囲まれた自然豊かな環境の中にあります。地域の自然の中で体を十分に動かし、五感をフル活動させて活動を楽しんでいます。

園内では大きな木の周りや築山、土手などで草花遊び、虫取りなどを毎日楽しむことができます。自然に囲まれた環境の中で、自分たちで野菜を育てたり、収穫し食べたりして食に興味・関心を持つ取り組みが行われていました。

訪問日は園庭の中にある田んぼでの稲刈りが終わり、子どもたちが触れることのできる場所に稲が干してあるところでした。また、ちょうど、市内の牧場（スイス村）からポニーがやってきて乗馬体験をしたり観察画を描いているところでした。地域おこし協力隊の方の姿も見えました。

職員は、子どもたちが自然を感じて意欲的に遊び、命の大切さ、友だちの大切さに気付いてほしいと願いながら保育をすすめています。

5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	初 回（ 年度）
---------------	----------

6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

◇特に良いと思う点

○環境による保育の実践が行われています。

・豊かな自然に恵まれ、園全体がゆとりのある構造であったり様々な体験ができる園庭の工夫があったりと、子どもたちの興味関心に働きかけ、楽しく遊べるための環境設定が見られました。

園庭には、程よく樹木が植わっていて、斜面もあるため、夏は日陰でゆっくり遊び、冬は斜面でソリ遊びを行っているそうです。

・安曇野市で唯一、園庭に「ミニ田んぼ」があり、年長児が育てています。田植えから稲刈り、それを食すまでの経験ができます。

・各保育室は、園として大切にしたいことを守りながら保育士一人ひとりの個性も見られ、制作活動や展示物から子どもの生き生きとした姿が想像できるようでした。

・クールダウンの場所や、ゆっくりと絵本に親しむコーナーなど、子どもたちの特性にも配慮した工夫が随所にみられ、職員が子どもたちに寄り添って、子どもの発達状況や個人差を理解し、一人ひとりが意欲をもって活動するための適切な援助がされていることがわかりました。

・職員は子どもの様子を見守って、必要な支援をし、総合的な自己評価を繰り返しながら、保育の振り返りを大切にしています。園の願いを明記し保育園で育ててほしい姿を見据えた活動計画も立案されています。子どもが環境によって育つということを改めて感じさせられる園でした。

○情報発信により園への理解を深めてもらう工夫をしています。

園の活動や子どもの姿が保護者や地域の方に伝わるよう、ホームページには子どもの活動の様子や一人ひとりの意欲に満ちた表情、満足した笑顔など生き生きとした様子が載せられています。

○地域との連携

・地域おこし協力隊の採用、近隣の中学校との交流、地元の行事参加など、地域との連携が多くあり園の職員以外の人との関わりが日常的に行われています。

・あおぞら広場を年に6回開催し、園の開放と共に未就園児とその保護者の相談事業も行っています。地域の親子を迎える機会には園を理解し親しんでもらうための工夫や環境設定をするなど園全体で取り組んでいます。

・地域の方の力を借りて、畑の活動やお茶会、お話し会の活動も行われています。

・近隣に中学校があり、職場体験や家庭科の時間などを利用し生徒さんたちと交流を行っています。中学校の広いグラウンドを思いっきり走りまわることもできます。

・田園に囲まれており、近くには神社もあるので散歩に行きやすいなど地域性に恵まれています。

・移住者の皆さんを中心に活動する地域おこし協力隊と共に野菜やお米作りなど様々な経験ができるとともに園の職員以外の人との関わりができています。

○子ども一人ひとりの発達過程に沿う保育

・「一人ひとりの子どもの最善の利益を第一に考える」という基本理念のもと、育てたい10の姿を明記し園内外の研修を充実させています。子どもを尊重し、子どもも互いを尊重し合う心を育てるための保育を大切にしています。

・子どもの発達過程は保育要領等に基づいて捉え、必要に応じて加配・小集団の保育士を配置して一人ひとりの成長発達段階に合わせた保育を行っています。

・園庭のつくりや活動の工夫、地域の方の参入等により、異年齢の関わり、世代間交流が自然な形でできており、人間関係が豊かに育っています。

・子育てに不安を抱えている保護者の方には、個別に対応し必要に応じて、外部機関と連携をとり、巡回相談など専門的な視点から支援を行えるように体制を整えています。

○職員の資質向上が図られています

・保育の振り返りを定期的に行い、外部の専門知識を得るための研修、園内の保育の質を高めるための職員研修や話し合いが定期的に行われています。

・園長のリーダーシップのもと主任を中心に保育計画や保育の方法を考察し合い、PDCA サイクルを有効に機能させて職員の意識統一が図られたうえで保育をしています。

◇特に改善する必要があると思う点

○危機管理の関係で、園を囲っているフェンスが低いことが職員にとっても保護者にとっても不安なようです。⇒現在は人感センサーライトを購入し、夜間不審者が侵入した場合には、ライトが点滅し威嚇するようにしています。正面玄関には防犯カメラを設置していますが、まだまだ改善の余

地があります。市の担当課と連携しながら一層の安心安全な園を目指しています。
○人員不足で、長時間保育など保育士が交代して保育を行っている日があります。当園に限ったことではありませんが、慢性的な人員不足を補い、働きやすい体制作りの工夫が、担当課と共に求められます。

7 事業評価の結果(詳細)と講評

- ・ 共通評価項目(別添 1)
- ・ 内容評価項目(別添 2)

8 利用者調査の結果

- ・ アンケート方式(別添 3-1)

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント(別添 4)